



利岡保育所・利岡小学校

合同運動会 がんばりました！

10月4日午前5時半過ぎ、まだ空が暗く霧雨が顔にかかる中、校庭に出て、体育主任の谷本先生、保育所長さん、教頭先生とともに、運動会を決行すべきか否かの判断に頭を悩ませていました。インターネットでありとあらゆる天気予報の雨雲レーダーを繰り返し見ても「どうしましょう！」と決めかねていました。刻一刻とみなさんに決定をお知らせする午前6時が近づいてきます。午前5時59分、空が少しずつ明るくなり「やることにしましょう！」とやっと決断しました。最後は体育主任が伝説の晴れ男であることを信じて（笑）

決行のお知らせをするやいなや保育所、小学校の保護者のみなさんが早束手伝いに来てくださり、あっという間に運動会会場の設営ができました。



雨が降ってもラインの後が残るようにと溝を掘ったり、前もって水たまりができないようにグラウンドの低い部分に土を入れたり児童や教職員が作業を事前に頑張ってくれていたおかげでもあります。大勢の人が「明日はできそうにないね」と思うような空模様であり半分あきらめかけていたのですが、みんなのパワーで予定通り午前9時に運動会をスタートさせることができました。



保育所、小学校の競技や演技はどれも子どもたちの成長した姿が見られ嬉しく思いました。特に保育所年長さんの竹馬や小学生のダブルタッチ（やってみよう！）はすごく感動しました。目標を持ち、100cmの憧れを抱き、恐怖感や痛みを克服しながら長い時間練習に取り組んできた3人の年長さん、限られた練習時間で仲間と協力して完成させた小学生のダブルタッチ！これを通して子どもたちは仲間の良さに気づくとともに達成感と自信を得たことでしょうか！その他、各応援団でのまとまり、全力疾走したりリレーあらんばかりの力をふり絞った綱引き、保護者、地域、園児のみなさんと一緒に心ひとつに踊った「よさこい演舞」！園児11名、小学生10名の極少人数の利岡保育所・利岡小学校のみなさんですが素晴らしい運動会を行うことができました。自慢の子どもたちです！

しかし、保育所、小学校だけで運動会ができたわけではありません。保護者のみなさんの団結力、地域のみなさんのご声援、以前、利岡小学校に勤務していた先生方のお力添えがあったからこそです。本当にありがとうございました！みなさまに感謝申し上げます。

今後も、利岡小学校の教育活動へのご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

今後、利岡小学校の教育活動へのご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



放課後子ども教室保護者会による

恒例のもちなげ

☆9月の学習の様子より

9/2(火) 5, 6年生『がん教育』

講師：日本対がん協会高知県支部 がん予防推進アドバイザー 上岡 教人 先生



【児童の質問より抜粋】

Q がんにかかっても、生活を整えたり、運動をすると治る確率は上がりますか。

A. 上がります。がんにかかっても、免疫機能を高めることは、がんを治りやすくしたり進むのをゆっくりにすることが言われています。また、日常生活の中でがんになりにくい体を作るには、以下のことも良いと言われています。

- (1) 体を冷やさない。温める。シャワーよりお風呂(40度程度のお湯)でゆっくりくつろぐ。
- (2) 腸内細菌を善玉菌(ビフィズス菌など)優位にする。
- (3) 笑いを取り入れる、ストレス解消。
- (4) ぐっすり質の良い睡眠をとる。(5) 頑張りすぎない。疲れすぎない。
- (6) 適度な有酸素運動、散歩などがよい。
- (7) 夜更かしをしない。免疫細胞は深夜には弱いのです。

☆『早寝早起きは三文の徳』これは免疫にも言えるようです。

Q. 早期発見をし、手術すると100%治ることはありますか。

A. 早期発見をして、手術など適切な治療をすると、がんになっても90%の人が治ると言われています。なかには、皮膚がんや前立腺がんのように100%治るがんもあります。



※子どもたちは初めて「がん」について学びました。とても分かりやすく教えていただきました。日本では2人に1人ががんになると言われています。子どもたちは『自分の生活を整えたり、早期発見できれば治療して治ることが多いので検診を受けることが大切なのだと分かった』などと感想を述べていました。

9/26(金)『全校平和学習』

講師：小林 郁生 先生



「今日は何の日でしょう？」から始まった小林先生の質問。答えは、朝の連続テレビ小説「あんぱん」の最終回の日とのことでした。

小林さんのおばさまがちょうどあんぱんの主人公『のぶさん』と同じ時代を生きてきた方だそうです。また、のぶさんと同じようにその時代に小学校の先生をなさっていたそうです。その時代背景について教わり、おばさま方の生きざまややさせたかしさんのおっしゃ

っていた『逆転しない正義』とはどういうことなのかを考えさせられる時間となりました。

最後に今の世の中について問う歌を聞かせていただきました。なぜ、今も人々は争いを繰り返すのか・・・世界のみんなが安心して暮らせる社会にするために自分たちは何ができるのかと考えさせられる時間でした。



9/29(月)『かけっこ先生』

講師：高知大学教育学部保健体育教育コース 宮本 隆信 教授

子どもたちは『かけっこの正しいフォームを知って走ることの気持ちよさを味わう。』ことを目標にかけっこのコツを習いました。

○児童の感想より

- ・かけっこを走るときは正しいフォームで走ることが大切だと分かった。
- ・0.1秒で1mも速くなることを初めて知った。これからも練習を続けていきたい。
- ・足を速くするためには、練習し続けることが大切だと学んだ。



さて、明日は四万十市・三原村の陸上記録会が宿毛市総合運動公園内の陸上競技場にて行われます。

練習の成果を発揮して大勢の仲間の中で刺激を受けて力を存分に発揮し自己記録を更新して来てほしいです。また、他校の友達の良さにも気づけるといいですね。

放課後の練習に際しましては、板ノ川の弘畑佳之先生にもご指導していただきました。